

2014年5月9日

各位

会社名 株式会社 アイスタイル  
 代表者名 代表取締役社長 吉松 徹郎  
 (コード番号: 3660 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 CFO 菅原 敬  
 (TEL. 03-5575-1260)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2013年7月26日に公表した2014年6月期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2013年7月1日～2014年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,478	百万円 587	百万円 569	百万円 254	円 銭 17.58
今回修正予想 (B)	6,914	245	232	0	0.00
増減額 (B - A)	△564	△342	△337	△253	
増減率 (%)	△7.5%	△58.3%	△59.2%	△99.6%	
(参考) 前期連結実績 (2013年6月期)	6,410	738	713	429	273.14

2. 修正の理由

2014年6月期第3四半期連結累計期間の実績及び下記の動向を踏まえ、通期の業績予想を変更いたします。

(1) メディア事業

メディア事業におきましては、下期偏重の収益計画を想定しておりましたが、一部化粧品メーカーの出稿抑制も見られ、「@cosme」の広告収益が計画を下回りました。

なお、プレミアム課金については、プロモーション時期の変更により課金者数は純減しましたが、収益への影響は軽微です。

(2) 店舗事業

物販が計画以上の伸びとなったため、売上では計画を達成しました。しかしながら、新規サービスのスタート時期が遅れたことにより、利益面で計画を下回りました。

(3) その他事業

エステサロン等の情報サイト「ispot」では、サービス価格の変更による収益の拡大を見込んでおりましたが、想定を下回る結果となりました。第2四半期中より戦略の見直しを行った結果、月額平均単価も下げ止まり、徐々に向上してまいりましたが、回復には時間がかかっています。

(4) 費用

採用のコントロールや本社オフィス移転費用の削減、「ispot」の戦略変更等の結果、販売管理費は当初の計画より下回りました。一方で、今期は海外展開やDSP事業を展開する子会社設立など、各種成長施策を展開しており、費用が一部先行しております。

(5) 特別損失

第4四半期において計上の可能性が高い特別損失を、業績予想に織り込んでおります。

上記については既に対応に着手しており、一部改善の傾向も見られますが、第3四半期までの業績を勘案し、2014年6月期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

以 上